

西臼杵地域肉用牛クラスター協議会

山間地域において自給飼料利用の拡大、肉用牛の生産性向上を推進し、肉用牛生産基盤の強化を図ることにより、地域全体の収益力向上を実現する。



担い手育成・規模拡大支援等の検討会、技術研修会の開催



山間地域における肉用牛生産振興の取組

高千穂地区農協
畜産連絡協議会
(実証試験協力)

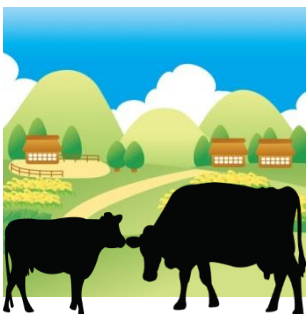
高千穂地区農協
(事務局、事業総括)

県西臼杵支庁
(実証試験の実施)

高千穂町肥育牛
振興会
(実証試験協力)

NOSAI北部西臼杵、
延岡家保
(実証試験協力・助言)

高千穂町・日之影町
五ヶ瀬町
(実証試験の実施)



【実証内容】

安定的な畜産経営の維持が困難な山間地域において肉用牛生産基盤の強化を図る。

- ・繁殖雌牛の生産性向上(受胎率の向上)を図るため、飼料給与方法等の飼養管理技術を検討。
- ・粗飼料の安定確保を図るため、粗飼料流通体系の確立(WCS給与試験・コスト分析)及び放牧の推進(草種選定試験、コスト分析)。

この結果を踏まえ、肉用牛支援システムを構築し西臼杵地区の肉用牛生産振興を図る。

【効果】

- ・生産基盤の強化
肉用牛支援システム構築による繁殖雌牛の増頭 4,544頭→5,100頭
- ・生産性の向上
飼養管理技術の向上による繁殖雌牛の受胎率向上 83%→85%
- ・放牧の推進
地域にあった草種選定による放牧期間の延長

地域全体で3.4億円の収益増

子牛の生産頭数の増加
現状: 4,544頭 × 83% = 3,770頭
目標: 5,100頭 × 85% = 4,335頭
(4,335頭 - 3,770頭) × 60万円
= 3.4億円